

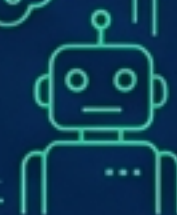
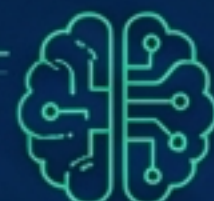
「特許調査は時間がかかる」 という常識を疑う



【従来の特許調査】 =
数週間の時間 + 数十万円の外部委託コスト



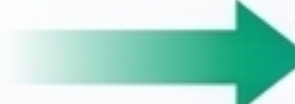
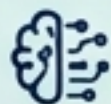
【次世代のワークフロー】 =
数分 + 自律型AIエージェント



汎用AIツール vs ドメイン特化型AIエージェント

	汎用AIツール	Patsnap Eureka
[動き方]	質問に答える(単発)	ワークフローを自律的に完了させる
[精度]	一般的	汎用LLMより 60% 高い出力精度
[データ基盤]	汎用的なウェブ情報	特許・論文・法務データ35億件以上
[ハルシネーション(嘘)]	発生しやすい	4段階のデータパイプラインで大幅に抑制
[最終出力]	テキスト回答	ノベルティレポート・FTOレポート・特許明細書

 AI Tools   Human Intervention  タスクの完成 

  AI Tools   AI Agent  ワークフローの完了 

イノベーションを支える35億件のデータ基盤

>35億件

専門家監修のイノベーションデータポイント

特許データ: 2億800万件

非特許文献: 2億1500万件

法的データポイント: 16億件

対応法域: 174法域



毎週更新・1,000以上の
分野に細かく分類

入力データは学習されない。 エンタープライズ水準の堅牢なセキュリティ



AI学習への利用ゼロ

ユーザーの入力データはLLMのトレーニングに一切使用されず、クローズドな環境で処理されます。



グローバル認証の取得

ISO 27001, GDPR, AICPA SOC
に完全準拠。



トップ企業の導入実績

世界のトップ2500 R&D投資企業
のうち1/3が利用。Tesla, Mercedes-
Benz, 3M, Siemens, Google,
Bristol Myers Squibb, Bayer など。

新規性調査の自動化：アイデア入力からレポート生成まで

AIエージェントによる完全自律実行領域（人間の介在ゼロ）

1. アイデアの入力



入力窓...

自然言語での入力・
検索式不要

2. 技術的特徴の抽出



AIが主要要素を
自動抽出

3. マルチ検索戦略



最大6回の反復的な
自動検索

4. 結果の評価

✓	==	%	▬
✓	==	%	▬
✓	==	%	▬
==	==	%	▬

構造化された表で
類似度スコアを算出

5. 最終レポート生成



共有可能な
ノベルティレポート

新規性調査における劇的なROI



数分

外部委託の遅延「2~7日」から短縮



95%削減

外部委託比での最大コストダウン



1.6x精度

一般的なAIツールより1.6倍高い精度

「検索式を書けない」「どの文献が関連するかわからない」
という入手のハードルが大幅に下がる。

FTO評価のパラダイムシフト： 単発のチェックから、継続的なリスク管理へ

	コンセプト期	設計期	開発期	出荷前
従来の手法				 高コスト・手遅れのリスク
Eurekaの アプローチ	 早期リスク可視化・ 市場把握	 新たなリスクの 継続的モニタリング	 機能進化に伴う 反復的な妥当性評価	 最終的な構造化 リスク評価

FTO調査のスケールアップとコスト破壊

スピードの高速化

60～500倍

数週間 → 数分

チェック頻度の向上

5～10倍

1回 → 5～10回

コストの大幅削減

最大90%削減

\$5,000～\$10,000 → \$200/レポート

専門家のリソース解放

2～3倍

1件あたり10～20時間のレビュー工数削減による
弁理士のキャパシティ向上

手作業による複雑なクエリ作成から解放され、
より付加価値の高い戦略立案へ集中可能に。

知財担当者だけでなく、R&Dエンジニアのための強力な武器



Technical Q&A



この素材の高温環境での課題は何か



この素材の高温環境での課題は何かと。てい環境中手摘化、技術課題の解決に要求をのま技術的改善、高温にたいない課題などを活用し、実施することがあります。

- 高温環境の高温環境下により、この素材、高温環境安定性が課題にすることがあります。
- 技術課題の技術的改善により、高温環境に対する素材の課題などを活用することがあります。
- 素材的改善に課題の改善、技術に比較できるため、実施に高温環境での素材の課題などを活用することがあります。

Citation: <https://www.ai.ais.com/qioecytes/metttrade/anni-semaoseis/inatamafenta/905-ohu/>

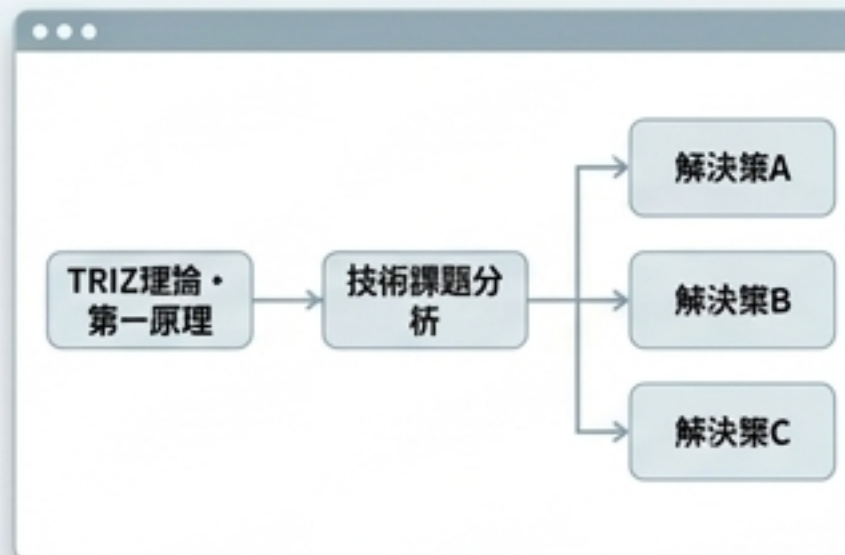
エビデンスに基づく技術回答。高温環境での素材の課題などをワンストップで解決。



R&D Agent



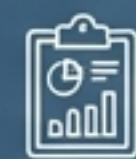
Find Solutions (ソリューション創出)



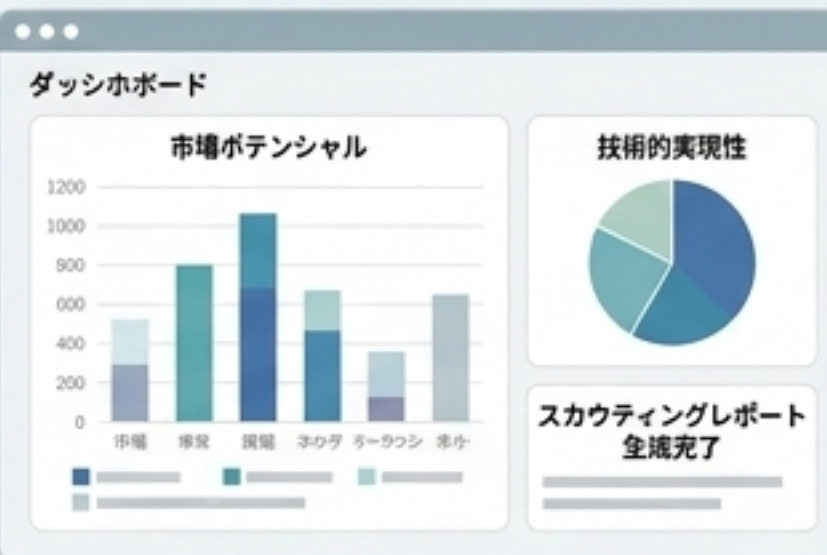
TRIZ理論と第一原理を活用し、技術課題に対する解決策の方向性を複数提示。



R&D Agent



Quick Research (クイックリサーチ)



技術的実現性と市場ポテンシャルを評価するスカウティングレポートを迅速に生成。



R&D Agent

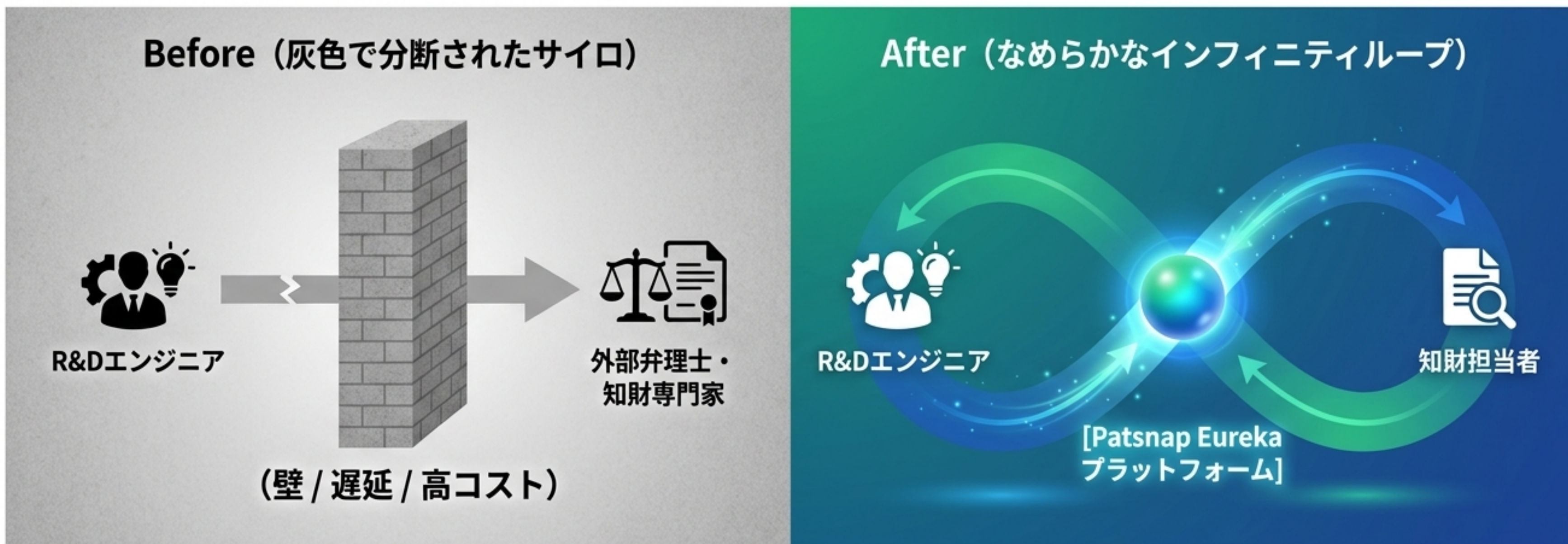


「検索から迅速に高品質な事例を入手できることは真の資産。R&D活動に自信を持って前進できる」



— エンジニアのユーザーの声

知財調査の民主化：「専門家に任せるもの」から「チームで使うもの」へ



R&Dが自律的に初期の知財調査や技術探索を行うことで、知財部門は「反復的・定型的な調査業務」から解放される。これにより、知財部門はより高付加価値な「判断」と「戦略立案」に集中できる。これは知財部門を「不要にする」ツールではなく、組織全体のイノベーション速度を最大化する「設計図」である。